

~~~~~  
 国際理事会報告  
 ~~~~~

## 2012年度ICD国際理事会報告

国際理事 千田 彰、橋本 光二

2012年度の国際理事会が、ADA（米国歯科医師会）総会の開催に合わせ、サンフランシスコ（会場：Hilton San Francisco Union Square）で、2012年10月20、21日に開催された。国際理事会は、通常、年に1回開催され、隔年ごとに米国、米国以外が開催地になる。米国で開催される際は、ADA総会に合わせて開催される。したがって前回の開催地はインドのニューデリーで、前々回は米国フロリダのオーランドであった。

国際理事会（International Council Meeting）は、会長（International President）、副会長（Vice President）、前会長（Immediate Past President）、財務（Treasurer）、編集長（Editor）、国際理事（International Councilor）、事務局長（Secretary General）で構成される。また国際理事会を補完する形で、9の常置委員会と臨時委員会（Ad Hoc）が、理事会の開催期間中に開催される。

今回も以上の恒例に則り、ADA総会の主ホテルでもあるHiltonホテルで開催された。（図1）このHiltonは、サンフランシスコの観光拠点、中心街の一つであるユニオンスクエア（Union Square）にある巨大ホテルで、大きな学会・宴会場、多くの会議場を備えている。このホテルの近くには、他の大小有名なホテ

ルもあり、また和食も含めて多くのレストランが建ち並び、他のサンフランシスコ観光名所、例えばフィッシャーマンズワーフ、ゴールデンゲート（金門橋）などと並ぶ観光スポットでもある。日本部会のフェローにも馴染み深い街ではないだろうか。

会議はいつも通り、早朝7時15分から、理事会場に隣接した部屋での軽い朝食をとることから始まった。国際理事の仲間同士が、久しぶりに顔を合わせて挨拶を交わす。互いにメールの交換などで連絡をとり、意見交換はしているものの、ほとんどが1年ぶりの再会になる。

その後逐次会場に入って、定刻8時に、2011/2012



図2a



図2b



図2c 国際理事会の会議風景



図1 Hilton San Francisco, Union Squareの部屋から見た霧に包まれた街並



図3 執行部役員、国際理事



図4 退職した本部事務職員Kathleenと筆者。全国際理事が彼女の退職を惜しんだ

年度会長Dr. Garry Lunnの、招集宣言があり、会議が開始され、国際理事の点呼が行なわれた。続いて、各国際理事に予め届けられたCouncil Bookにある

Agendaに従って、会長以下、事務局長および執行部の報告、各委員会委員長による報告があり、これらへの質疑と承認の採決が次々に行なわれた(図2a~c)。

午後1時から2時までの昼食の後は、全理事が参加して、Strategic Thinkingという会合が設けられ、ICDの今後の発展に向けて様々な意見の交換が行なわれた。引き続き、各種の委員会が数カ所に分かれて開催され、各理事は所属する委員会に集まり、各々懸案事項について意見交換、議論した(図3、図4)。

初日の理事会、委員会後には理事会メンバーが一堂に会して、サンフランシスコ湾のディナークルーズが催行された(図5a、b)。ビュッフェ形式での食事、ワインを楽しみながら金門橋までの往復、サンフランシスコの夜景を楽しんだ。あいにくの冷たい風、寒さで曇ったガラス越しの夜景であったが、その友人



図5-a ディナークルーズで(左から台湾のDr. Shiau夫妻、カナダのDr. Zenith、橋本国際理事夫妻)



図5-b 次期副会長に選出されたJoe (Dr. Kennealy)と筆者



図6：新旧国際会長、Dr. Garry LunnとDr. Leon Aronson

同士の会話と雰囲気堪能した（図6）。

2日目は、初日に同じく、早朝7時15分からの朝食から始まり、午後1時まで、1回のコーヒープレイクをとるだけというハードなスケジュールで、しっかり審議が行なわれた。主な報告事項、審議事項は以下の通りである。

#### 報告事項

- 1) 新国際理事の紹介および国際部会からの新理事選出（ナイジェリアから）
- 2) 前年度議事録、執行部報告、財務報告などの承認
- 3) IT委員会による会員データベース作成の案の承認
- 4) そのほか各種委員会と各部会報告（日本部会も含め）

- 5) 長く国際本部秘書を務めたMs. Kathleen Bulaが  
辞職

#### 審議事項

- 1) Okumura/Ottofy賞をDr. Don Johnsonに授与
- 2) 6名（日本部会天野前会長、カナダ部会Dr. Suzukiも含め）にマスター称号を授与
- 3) 国際本部のフィラデルフィアからフリント（ミシガン州）への移転
- 4) 役員にSpeakerを加え、Dr. Silokyがこれにあたる。International Continuing Dental Education部門を設置（Dr. John P. Gobettiを部門長とする）
- 5) 今後の国際理事会開催地：2013年中国・成都、2014年オーストラリア、2015年ドイツ・ミュンヘン、2016年米国・デンバー、2017年台湾・台北
- 6) 新役員選出：会長Leon I. Aronson（米国）、次期会長Woong Yang（韓国）、副会長Joseph R. Kenneally（米国）、財務Clive B. Ross（オーストラリア）、編集Sheldon Dov Sydney（ヨーロッパ）

以上、2012年度の国際理事会の報告を申し上げた。最後に、国際理事は各部会から推薦、選出されるが、国際会長・理事会から委嘱、任命される国際本部の役員であることを日本部会のフェローにもご理解頂き、ICDの国際組織としての発展に、今後も引き続きご協力頂きたくお願い申し上げたい。

（文責：千田 彰）